

年度途中転入の受け入れについて

「地元の高校で挑戦したい」「自律した生活を通信制高校に通いながら」と、高校生活を始めたものの、さまざまな理由で学校を続けられない状況に至ってしまったという相談が多く寄せられます。

新しい環境に入っていきことや、もう失敗はできないというプレッシャーを抱えながら、苦手なことに再度挑戦することは大変な不安を覚えます。大人ですら、そう。まして、子どもたちであればなおさらです。「転校する」というのは、そういうこと。しかし、そこで諦めてほしくないと思います。子どもたちにはこの先の未来と無限の可能性が秘められています。「なんとかしたい」と本人も思っている。そういった子どもたちを本校では年度途中でも受け入れたいと考えています。

全国からさまざまな経験をし集まった生徒の中で、苦しみ、悩み、喜び、楽しみを分かち合いながら送る高校生活。ふと振り返ったときに成長を感じる高校生活。心通う人間関係の中で、一生に一度の高校生活を送ってみませんか。私たちと一緒に、もう一度、頑張りましょう。



★ 出願書類 ★

【本人が記入・準備するもの】

- (1) 転・編入願書（本校所定の用紙に記入。写真添付のこと）
- (2) 志望理由書
- (3) 受験料 14,000円（現金で本校に持参ください）

【在籍高校で記入・発行するもの】

- (1) 転学照会書（在籍高校所定様式）
- (2) 成績証明書（在籍高校所定様式。修得単位数、出欠状況 記載のもの）
- (3) 在学証明書

★ 試験方法 ★

本人面接と保護者面接で可否を判定します。

★ 注意事項 ★

- 転校に関する詳細は、入試担当までご連絡下さい。
- 出願書類は、試験当日にご持参いただき、受付をいたします。
- 試験時に下記をご持参ください。
 - ・受験料：14,000円
 - ・教科書・ジャージ・上靴代：約23,000円
 - ・課税証明書 ご両親分
（課税標準額、調整控除額の両方記載のもの）



つくりあげる君の高校生活
北星学園余市高等学校

キリスト教主義・全日制普通科

〒046-0003

北海道余市郡余市町黒川町19丁目2-1

TEL 0135-23-2165 FAX0135-22-6097

E-mail nyushi@hokusei-y-h.ed.jp

転入についてのお問い合わせは、入試担当まで

こんな生徒さん、保護者の方に、ぜひ本校をご紹介下さい

次のような要素を抱えている場合、本校の特徴的な環境によって改善されることが多くあります。
「とにかく高校卒業の資格」と考える前に、ぜひ一度ご検討いただきたい事柄です。

★ 親子関係がうまくいっておらず、いったん距離を置いた方が良いと思われるケース

反抗期やこれまでの対応などから、親子関係がうまくいかなかった場合、一旦、家庭から離れることをお勧めします。家から離れての寮生活では、初めて自分で洗濯や掃除をしたり、下宿の管理人さんにご飯を作ってもらうことで、親のありがたみがわかります。

★ 家庭から離して、本人の自立を促したいと考えている保護者の方

「家にいると甘えてしまう」「このままだとただ高校を卒業するだけで、社会で生きていくだけの力は育たないままで終わってしまいそう」
そのような不安を抱えている親御さんは多くいて、寮生活を送る中でたくましく育ってほしいと願い、入学される方が多くいます。

★ 地元の友人関係を切り離すことで、本人の成長が見込まれるケース

「この子、本質的には優しくて良い子なんだけど、付き合う友達に引っ張られてしまって…」 「内心、本人もこのままじゃいけないと思っている。けれど、周りとの関係があるし、地元にいると切ることでもできないから、断り切れずにつられてしまっている」。
そんな状況を抱えている子が、本校では地元を離れて寮生活を送ることで、生活が改善される場合が多くあります。

★ 親だけでは子育てに困難を覚えているケース

子育ての歯車が合わなくなってしまうと、親だけで子どもを育てることは難しくなるケースが多くあります。私たちは、学校のことも放課後の生活も併せて、学校と寮下宿で総合的に見守ります。親御さん達とも協力し、三者それぞれの立場で連携しながら子ども達に向き合っています。

★ 親子で、いわゆる「共依存」の状態に陥ってしまっていて、一度離れることで本人の自立を促した方が良いと思われるケース

子どもが親を思う気持ちはかけがえのないものです。しかし、愛するが故に盲目的になり、また、核家族化の影響などから親子関係の持ち方がわからず、好ましくない関係を作ってしまったことがあります。共依存は当人の能力を育む機会を奪ってしまう場合があります。

★ 昼夜逆転など、放課後における生活上の乱れで登校が難しくなっているケース

寮下宿には門限（21時か21時半）があり、消灯時間があります。朝起こしてくれる管理人さんがいます。下宿の仲間で登校する雰囲気があります。学校生活に支障が出るような暮らし方については、担任や管理人さん、保護者の方と相談しながら、適切な対応を図ります。生活のペースが整い、学校に通えるようになります。

★ 未熟さゆえ、入学した高校での人間関係づくりに失敗。いまさら同じ場所で人間関係を築くことに困難を覚えているが...

1. やはり全日制に通いたいと考えている
2. 人間関係を築く力に劣等感を感じていて、内心なんとかしたいと考えている

一度うまくいかなかったことに挑戦するのは、勇気のいることです。しかし、そこで感じてしまった劣等感や、それを乗り越えることでしか本当の意味での自信回復につながらないと考えます。「もう逃げたい」という気持ちと同時にある「でもなんとかしたい」という気持ちを全力でサポートします。





★年度途中の転入生が、毎年20名ほどいます。

年度途中で転入してくる生徒が20名ほどおり、月に2名少々のペースで新たなメンバーが加わります。生徒たちは、次にどんな子が来るのかと楽しみに待っています。本校に入学する子は、大きな不安を抱えて入学してくる子が多いです。在校生もそんな気持ちを抱えて入学してきたので、新しく入学してくる時の不安を察して優しくしてくれます。

★全校生の約40パーセントが、転編入学をしています。

昨今は地域での教育機会が充実しています。かつては、中学卒業後ストレートに本校に入学していた子どもが多かったですが、最近は一歩地元の高校にチャレンジしたものの、さまざまな要因でうまくいかなく、本校に転・編入してくる子どもが増えました。転・編入学する生徒の約半分が高校生くらいの年代（16～18歳）、もう半分くらいが大学生くらいの年代（19～22歳）となっています。ひとつの学年に、幅広い年齢層の子ども達がいる、年齢を気にすることなく、高校生活を再出発することができます。

★年度途中の転入は、4月から12月まで受け付けています。

欠席日数が多いことだけで受験を断ることはありません。また、退学していても前籍校の在籍期間によっては、入学が可能なケースもあります。まずはお電話でご相談下さい。

★職業科、定時制、通信制などからも転入できます。

本校は全日制普通科ですが、定時制や通信制、職業科（水産高校・商業高校・工業高校など）からの転入も可能です。

★非課税世帯、生活保護世帯でも通えています。

非課税世帯、生活保護世帯の方は、入学金が全額免除されます。また、就学支援金等の補助があり、授業料は毎月全額補助される仕組みとなっています。

★昼間は学校、放課後は寮と学校で、子ども達の生活をサポートします。

9:00～15:00までの学校生活は私たち学校がしっかり見守ります。放課後の生活は、寮下宿の管理人さんが目配りしてくれています。私たちもその様子を把握するように努めています。私たち学校と寮下宿は、協力し合い、連絡を取り合いながら子ども達をサポートします。



転入学に関する よくあるご質問

★北星学園余市高等学校とは？

北海道余市町にある全日制普通科の高校です。全校生220名ほどの小さな学校です。開校は1965年。1987年から不登校、非行、高校中退等、さまざまな経験をした子ども達を受け入れてきました。

★いつ転入試験がありますか？

転入試験は随時実施しています。本人と保護者の方と打ち合わせをして、お互いの都合の合う日程で試験を実施します。

★転入の条件は？

制度上、時期や修得単位数など、いくつかの転入条件があります。お子さんの状況に合わせてご説明しますので、お電話でお問い合わせ下さい。

★在籍校での欠席日数が多いのですが...

現在は、在籍校での欠席日数に関係なく受験を受け付けています。ただ、本校に入学してからの欠席日数は、進級や卒業に影響しますので、切り替えの意思は大切になります。

★転入試験までの流れは？

1. 転校を検討している旨、本校にお電話下さい。その際、お子さんの状況を確認し、転入にあたっての条件等をお伝えします。また出願書類等も、ご希望があれば一式お送りします。
2. 在籍校に転校の希望を伝えて下さい。その際、転学照会書・成績証明書（修得単位数と出欠状況を記載）・在学証明書の発行を依頼して下さい。それらの書類は、原則在籍校から本校に郵送していただきます。
3. 原則、上記の3通が届き次第、受験日の設定ができます。
4. 受験日に来校下さい。出願書類（願書、志望理由書）、受験料、教科書・ジャージ・上靴代、課税証明書をご持参下さい。

★合否判定や初登校はいつ？

合否判定は受験日の翌日に行い、合格した場合はその日から登校することが可能です。なお、金曜日に受験した場合、土日ははさんでの合否判定となりますので、ご注意下さい。

★寮下宿はどうやって決めるの？

本校の生徒が寄宿している寮下宿は、町民の方が開いている民間下宿です。もちろん教育活動における日々の連携は取っていますが、学校が運営しているというわけではありません。従って、寄宿する寮下宿を決めるにあたっては、本人・保護者と寮下宿の間で契約をすることになります。寮下宿選びに際しては、基本的にはご自身で自分に合う寮下宿をインターネットや寮案内資料で調べたり、お電話で相談して話を聞いたり、直接見学したりして決めていただくこととなります。しかし、10数軒以上の下宿があり、すべてを見るといことも難しく、それぞれの寮の雰囲気や空室状況、地理的な感覚や移動手段など、さまざまな疑問が出てくると思います。そういったこともあって、下宿見学の前に一度学校に来ていただき、本校教員からアドバイスを受けることも可能で、実際はそのような流れで見学の方がほとんどです。なお、希望する下宿が決まりましたら、その旨を当該の寮下宿にお伝え下さい。

★寮下宿はいつから入れるの？

原則、合格となり、入学が決まり次第です。

★受験日とその翌日の流れは？

試験は、面接官の関係上、放課後（午後の時間帯）に行います。試験はトータル2時間程度かかります。前泊される方、午前中に到着できる方は、午前中に一度学校に来て、学校見学をしたり、下宿見学にあたっての相談を受けた後に下宿見学に行か

れる方が多いです。試験時間ギリギリに到着される方は、試験後、夕方の時間帯に下宿見学をします。もちろん、過去に下宿見学をしたことのある方は、あえて下宿見学をする必要はありません。

翌日は8:50までに本校事務室に来ていただきます。合格となりましたら、基本的にその日から登校します。保護者の方は、その場で入学手続きや諸連絡を受けていただきます。なお、本人はこの日から下宿生活が始まります。

★「ちょっと前に退学届を出してしまった」「退学処分を言い渡された」という方へ...

お電話でご相談下さい。諦めずに子どもの未来を追求しましょう。

★北星余市で生活する費用はどのくらいかかるの？

詳しくはお電話か、またはホームページの費用について

[Http://www.hokusei-y-h.ed.jp/cost/gakuhi](http://www.hokusei-y-h.ed.jp/cost/gakuhi)

をご覧ください。学費と寮下宿費に分けて考えるとわかりやすいです。また、各種補助制度や奨学金などもあります。

その他、気になることはご遠慮なく、お電話・メール等でご相談下さい。



LINE

LINE公式アカウントはじめました

受験前のご相談、入試に関するお問い合わせなどお気軽にご連絡ください。

